



富士河口湖町

議会だより



開園2年目を迎える大石（奥長林地区）のサクランボ園にて
組合員の配慮により、サクランボ狩りを楽しむ地元大石保育園児

- ◆このことを決めました——2p
- ◆請願・議員発議——3p
- ◆委員会報告——4～6p
- ◆一般質問——7～9p
- ◆特集——10～11p



こういうことを 決めました。

4月臨時会
6月定例会

平成十六年第二回臨時議会が、四月二日に開催され、また、第三回臨時議会が三十日に開催され、次の議案が原案どおり可決されました。

第二回臨時議会

議案

- ・ ぽぷら河口湖旧館解体工事請負契約締結
- ・ 富士河口湖町一般会計補正予算（第一号）

第三回臨時議会

議案

- ・ くぬぎ平スポーツ公園サブサッカー場芝張り工事請負契約締結について
- ・ 富士河口湖町一般会計補正予算（第二号）

選任同意

- ・ 長浜財産区管理委員

梶原 芳章
常磐 旭
三須 五郎

六月定例会は六月十四日から十七日までの四日間開催されました。

定例会に提出された案件は報告四件、議案十六件、選任同意二件、一部事務組合議員選挙二件を審議し、全議案を原案どおり可決しました。

専決処分の報告及び承認

- ・ 富士河口湖町税条例の一部改正
- ・ 富士河口湖町印鑑条例の一部改正
- ・ 平成十五年度 富士河口湖町一般会計繰越明許費繰越計算書
- ・ 平成十五年度 下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

議案

- ・ 富士河口湖町国民健康保険税条例の制定
- ・ 富士河口湖町行政区長設置条例の制定
- ・ 富士河口湖町福祉委員条例の制定
- ・ 富士河口湖町敬老祝金支給条例の制定
- ・ 富士河口湖町障害者施策推進協議会条例の制定
- ・ 船津財産区特別会計補正予算（第一号）
- ・ 小立財産区特別会計補正予算（第一号）
- ・ 勝山財産区特別会計補正予算（第一号）
- ・ 国民健康保険特別会計補正予算（第一号）

- ・ 老人保険特別会計補正予算（第一号）
- ・ 富士河口湖町水道事業会計補正予算（第一号）
- ・ 足和田簡易水道事業特別会計補正予算（第一号）
- ・ 富士河口湖町一般会計補正予算（第三号）
- ・ 温泉掘削工事請負契約締結
- ・ 特別町民の推戴

人事

- ・ 小立財産区管理委員選任 渡辺 晴長
- ・ 大石財産区管理委員選任 堀内 洋吾
- ・ 鎌倉 強正
- ・ 鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議会議員 渡辺 栄治
- ・ 朝比奈充知
- ・ 河口湖南中学校組合議会議員 渡辺 栄治
- ・ 朝比奈充知

富士
河口湖町
特別町民に



渡辺玉枝氏

議員発議 請願

皆さんの声を国政に

意見書を内閣総理大臣等に提出（要約して掲載）

議員提案

地震財特法の延長に関する意見書

予想される東海地震に備えて、地震防災対策強化地域の関係地方公共団体は、地震対策緊急整備事業計画に基づき、地震対策を講じている。

この計画が、平成十六年度末で期限切れを迎えるが限られた期間内に緊急に整備すべき必要最小限の事業をもつて策定されており、近年の地震災害に伴う教訓、社会環境の変化、地震防災対策強化地域の拡大及び中央防災会議における東海地震対策大綱の決定などに伴い、公共施設の耐震化、各種防災資機材整備等をより一層推進する必要がある。

したがって、東海地震による災害から地域住民の生命と財産の安全を確保するためには、地震対策緊急整備計画の充実と期間の延長を図り、事業を迅速且つ的確に実施することにより、地震対策の一層の充実に努めなければならない。

よって国においては、地震対策緊急整備事業計画の根拠である「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の延長について特段の配慮をされるよう要望し、提案する。

請願

義務教育費国庫負担制度を堅持し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願

紹介議員 渡辺一正議員・流石市朗議員・古谷芳信議員

意見書（要旨）

三位一体の改革が進む中において、義務教育費国庫負担制度を堅持し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図ることは、国が義務的に行なうべきものであり、「交付金化」「一般財源化」する措置・学校事務職員・学校栄養職員を国庫負担の対象外とする措置に対し、断固反対するものである。

表彰

山梨県町村議会議長会退職役員感謝状

渡辺 武彦 議員

三浦隆一郎 議員

山梨県町村議会議会広報功労者表彰

梶原 哲次 議員

富士河口湖町

議会議員県外視察研修

去る、五月二十六日・二十七日、議員視察研修を千葉県富浦町（道の駅とみうら）で行ないました。



委員会報告

総務常任委員会

委員長	在原 長一
副委員長	梶原 恒夫
委員	渡辺 周次 流石 安正
	三浦 勇揮 三浦 準治
	渡辺 勝利 三浦 利信
	井出庄一郎 流石 利道
	倉沢 石根 三浦 洋恵
	梶原 哲次 堀内 直人

・総務常任委員会関係補正予算

質問 管理職登用試験委託料の内容は。

総務課長 二日間、六名に講師三名がついて、管理上のスキルの研修及び能力評価、技法等を実施する。

質問 勝山婦人消防隊運営費補助金の内容は。

管理課長 当初予算未計

所管全般

質問 企業誘致活動について。

まちづくり推進室長 企業誘致に対応するため庁

内の組織として、仮称富士河口湖町企業立地推進本部を設置する準備を進めている。当町へ進出希望四社と、環境アセスメントに関しての県との協議や用地選定等、交渉を進めている。

質問 税金の夜間徴収について。

税務課長 夜間徴収は、税務課一名と新たに特別収納対策班が設置された。特に夜間徴収の税務課職員は、フレックスタイム制の勤務で対処している。

質問 滞納者の対策は。

税務課長 今後、滞納繰越分の処理は、収納特別班で行う。

質問 納税組合の活動は。

税務課長 自治会の納税組合活動を有利に生かし

てもらった中で、継続する。

質問 勝山ふれあいセンター西側交差点の信号機設置について。

管理課長 県下で設置需要が多く、反面、予算も限定されていて一年から三年かかると言われてい

質問 建設計画の中長期計画と、合併特例債について。

町長 長期十年間については、上九一色村も含めた計画である。もう暫く待つことで御理解を。

質問 健康科学大学の十六年度の宿舍利用状況は。

まちづくり推進課長補佐 現在二一六名が学生宿舍を利用して入居している。

質問 学生宿舍が多く建設されている。空室も出ると思うが。

まちづくり推進室長 宿

舎組合の規約により、組合と大学が、宿舍建設の調整を図っている。

質問 固定資産税の土地の評価額は、実際売買実例等の下落していく中、どのように課税評価をしているか。

税務課長 土地の評価額は売買実例があった場合は、その周辺の土地を参考にし、土地鑑定士等により算出される。課税標準額は宅地等については、評価額より、かなり低い価格で設定している。

質問 学生宿舍は、部屋が余って一般者も入居させていると聞くが、固定資産税相当額の補助は。

まちづくり推進室長 本年度は二五一室用意して、三五室ほど余っている。固定資産税相当額の補助は、条例の規定と先例等も参考にして、判定委員会の中で判断を仰いでいきたい。

質問 収納対策班の過年度滞納分の徴収について。

総務課収納対策係長 平成八年の旧河口湖町当時に差押えを行った案件の整理ができた結果、二四〇〇万円の大口の滞納額を収納することができた。

質問 ハザードマップの進捗状況及び東海地震に対応した地域防災計画は。

防災係長 富士山火山は、今月二十九日、国の富士山火山防災協議会から最終報告を受けて、北麓八市町村の富士山火山防災協議会で、ハザードマップを概ね九月上旬をめどに、第一版を発行したい。

東海地震は、注意情報が発令されたときには、速やかに対応がとれる地域防災計画の策定を考えている。



新町職員マネージメント向上職員研修

文教社会 常任委員会

委員長 堀内 弘一
副委員長 小佐野 一久

委員
渡辺 秀一 梶原 忠雄
望月 幸子 小佐野 坦子
渡辺 余緒治 駒谷 隆利
小佐野 勝 梶原 亥之雄
流石 市朗 白壁 賢一
渡辺 満 渡辺 一正
古谷 芳信

所管全般

質問 長崎県の衝撃的な事件に関する町の対応は。

教育長 他人に対する思いやりの心を育てると同時にインターネットの正しい扱いについて現場から指導している。

質問 南岸給食センター検討委員会の進捗状況は。

教育長 南岸三校の給食センターを建設するため検討委員会が設置され協議されている。現在三校はウエット方式をとっているがドライ方式に改善する方向であり、自校でドライ方式にするには敷地面積が一・五倍かかります。三校とも確保ができないし経費もかかる。費用の節減および維持管理の効率化による経費の削減等具体的な検討資料を提出してお互いに納得できる方向で協議していく。

質問 小立地区にあるふれあいセンターの改修とその後の状況を伺いたい。

健康増進課長 建物関係については専門家と現地を見て打ち合わせている。

リハビリクリニックについては整形外科医、理学療法士、作業療法士、看護師、事務員で九名体制で進むよう調整している。

章をつけていただき、また、学校においても安全について指導している。地区により温度差はあるが、大変抑止力になり今のところ不審者等の報告はない。



安全パトロール

質問 小規模校の小学校と

いう環境の中で学ぶことは果たしていいのか、子どもたちは触れあう機会が持てるのか。
教育長 小規模校はきめ細かな指導ができるというメリットもあるが、子どもたちが本当に大勢の人と触れあって充実した学校生活を送れるようにしむけるのも私たちの使命と思う、近くの小学校と合同で授業や行事を実施するなど考えていきたい。



広場に放置されている遊具

質問 登下校の安全のためウォーキング協会が安全パトロールを行っているが、メンバーおよび活動の内容は。
教育長 ウォーキング協会の各地区の役員方に安全パトロールの腕章を預け、ウォーキング時は腕

質問 河口湖北中学校の管理費の工事内容は。
学校教育課長 高圧設備等が動作特性不良により誤作動し停止させる事故の恐れがあるので、高圧ケーブルを交換工事する。

・国民健康保険特別会計補正予算(第一号)
・老人保健特別会計補正予算(第一号)
・文教社会常任委員会補正予算
質問 病院の不正請求額の返還金はいつ決定したものなのか。
保険課長 診療報酬の不正部分の返還であり本年の五月末に決定した。

福祉推進課長 小立福祉センターを富士五湖シルバー人材センターに午前八時半より午後五時半まで管理委託する減額補正であり他の時間は生涯学習課で対応する。

質問 合併による学校の図書館ネットワークの備品購入と機種は。

学校教育課長 整備されていない西浜中に本の分類に必要な専門のタイプライターの購入であり機種は旧河口湖町と同じである。

質問 学校の、保育園、チビッコ広場等の遊具のチェックはどのようにされているか。
学校施設課長 管内小学校の全施設を逐時修理点検し、年一回業者による点検を実施している。

福祉推進課長 各保育園の遊具関係は年度当初業務委託し点検結果により改修、撤去を行っている。チビッコ広場等は、自治会に管理をしていただき、修理等については、内容に応じて整備をしている。町全体では、相当数におよぶので公園管理担当者と協議して安全管理に努めていく。

産経土木 常任委員会

委員長 古屋 一哉
副委員長 朝比奈充知

委員
堀内 定 堀内 勝
三浦隆一郎 渡辺 重寿
小川 清治 渡辺 岩次
小佐野 量 高山 泰治
小林 博文 小佐野弘士
渡辺 慎次 倉澤 鶴義
渡辺 武彦

- ・町道の路線認定
- ・富士河口湖町水道事業会計補正予算
- ・足和田簡易水道事業会計補正予算
- ・産経土木常任委員会関係補正予算

質問 緊急地域雇用特別基金二六三〇万円について詳しい説明を。

所管全般

観光課長 公園委託料の部分で、古い茅葺屋根の家で、いやしの里に利用してもよいと言う話しを受けているので、取り壊し部分と並びにそれを材料として成形をするための委託費として、県の事業計画の

再利用と
言う形で
許可を受
けてい
る。



質問 外国人の誘客事業委託料の内容は。

観光課長 韓国、台湾、中国等で、富士河口湖町へ来るためのツアーを企画していたとき、チラシ、パンフレット等で誘客につとめるための委託料である。

質問 看板について、河口湖町、勝山村、足和田

村から富士河口湖町へ早急に書き換える必要があると思われるが。

観光課長 早急に対応していく考えである。広域の部分に関しては、今後のサイン計画等も見ずえ、建設課との協議の中で進めて行きたい。

質問 西湖の環境整備について。

町長 トイレを作ることについては、維持管理費を一番意識していかなければならないと考えるので、今後、遊漁税の導入も視野に入れ取り組むために、地区の議員さん、諸役員さんに協力をしていただき、地域との連携を密に行きたい。

質問 合併し道路パトロールも広域化したのが、取り組みは。

建設課長 道路、用地担当等が絶えずパトロールをし、穴埋め等をおこなっている。また、全役場職員を通じ各地区の状況を把握し対応している。



河口 国道137号線

質問 河口の一三七号線沿いの家は、下水道工事で掘削をした際に道路に凹凸ができ、補修はしているが大型車が通ると、震度3程度の揺れがあり大変困っている。舗装の改修計画等はあるか。

水道課長補佐 下水工事のものではないが、山梨県の管理下にある道路であり、確かに、道路が凸凹し非常に古いことも承知はしている。まちづくり管理監とも相談し、山梨県の都留建設部の道路担当等と話し合いを持ち解決の方向へ努力していきたい。

質問 温泉入浴指導員の配置の義務についての町としての対応は。

観光課長 温泉利用型のプログラムで厚生労働省

のいう認定施設にする場合には、温泉入浴指導員がいなければ施設として認められないので、温泉旅館組合を中心に、温泉入浴指導員の養成の方を指導していく考えである。

質問 インター線の用地買収の状況は。

建設課長 早期の共用開始につなげていきたいと考えているが、今現在、10件ほどの未買収地域があるのが現状である。

質問 水道水について、時として、塩素が強く感じせつかくのおいしい水がお茶が飲めないような状況も発生しているが、滅菌についての対応は。

水道業務係長 水道法の中で、給水栓における水が0.1mg/L以上保持するように塩素消毒をする事となっている、薬剤の使用量の変化により、末端で0.1であるようにするので貯水池の近くにおいて強くなったり、薄くなったりと言う状況があるの

で、職員が巡回し、塩素

については苦情のないように機械等の点検を行っている。

質問 ネイチャーガイド25名を選任し、さらに10名を増員とのことであるが、ネイチャーガイドの活用方法は。

観光課長 町が行っているネイチャーガイドツアーは、平日は1名、土日は2名のガイドが常駐し対応している。予約のガイドについては、予約が入り次第対応し、今まで最高20名のガイドで対応した実績がある。今後、ネイチャーガイドの利用等の需要も増えていくと考えられるので、利用者が満足していただけるようさらに努力していく考えである。



青木ヶ原樹海

ここが聞きたい! 質問



渡辺 余緒治 議員

雇用促進と 企業誘致の推進

質問 町の人口（今年四月一日現在二万三千八百二十五人）は年々増加傾向にあるが、雇用促進と企業誘致の推進対策は。

町長 町の人口は六月十日現在で合併前と比較して二百四十二人増である。昨年、町の有効求人倍率は、一・七倍（山梨県全体〇・九倍前半）であり、今年は一・八倍以上で推移できると思う。

それぞれの担当課で雇用の促進、外来者の移入に目を向けた。西湖地域へは、文化的な活動・活躍される方々の拠点づくり、大石地区へ農業青年の導入を検討中である。

企業誘致の状況は、旧河口湖町の段階から、船津地域の登山道東側から船津財産区にかけて企業誘致ゾーンとしており、松山油脂（石鹼と化粧水

工場）・大手製薬会社は、ほぼ方向が見えた。勝山地域内には飛行機の機内食をつくる工場の話も進行中である。

地方分権の時代で、企業誘致の促進を図ることが、町の純粋な自己財源を高めるためにも、二十一世紀の本町の生きる中心でもあり鋭意努力する。

防災対策と地域防災力の強化について

質問 防災全般について

管理課長 東海地震に関する山梨県の地域防災計画が五月十一日に決定され、危険度の低い順に、観測情報（前兆現象と直ちに判断出来ない場合）・注意情報・予知情報（警戒宣言発令）が発表される。町では観測情報の段階で対応する。

旧三町村の備蓄倉庫の点検や防災無線・貯水槽の整備等を行っていく。また、旧河口湖町と御

坂町が平成十三年四月二十六日締結した相互応援協定は継続していく。

地域防災力の強化対策として、自主防災組織は自治会・区単位で組織されており、六月の地区防災訓練・九月の総合防災



小立乳ヶ崎地区防災訓練

訓練で意識高揚を図る。

原則的に住民の生命と財産は、住民自らの手で守るよう広報・研修活動をし、地域の防災組織づくりを図っていく。

町長 小学生に防災全般の副読本を発行し、子供から家庭へ防災意識の高揚を推し進める。

ハザードマップは六月末に最終結審される予定。

個人情報保護の条例 化とＩＴリーダーの 育成

質問 公的個人認証サ―

ビスによる電子申請の交付件数は。

総合窓口課長 山梨県全体では五月二十四日現在

四百三十八件、町では十六件（住基カードの発行件数は二十一件）である。

今年度中に県十業務・市町村二十九業務が追加され、県と連携を密にしながらＰＲに努める。

質問 条例制定は。

総務課長 個人情報保護条例は、人的セキュリティを規定し、町の情報



小川 清治 議員

三位一体改革における 税源移譲について

質問 経済財政諮問会議

で、二〇〇五・二〇〇六年度の補助金削減が三兆円程度となり、税源移譲

が同額三兆円の提示があった。その中で地方に補助金改革の具体案をまとめ、安定財政運営に必要な一般財源の確保を要請

処理の実情に応じた適切な条例とする。また年度内の制定に努める。

質問 ＩＴリーダーの育成と組織づくりについて。

企画課長 電算担当職員一名を研修所に派遣している。町の高度情報基本

計画及び実施計画により各課に情報推進責任者を置きホームページの更新などに当たっている。

さらにＯＡ運用リーダーを設置しコンピュータの有効活用をしていく。

されたが。

町長 三位一体改革については、二〇〇四から二〇〇六年まで四兆円規模の削減を中心に、一方で地方への税源移譲がなされるとなっている。

本年度においては一兆円の削減に対して四五〇〇億程度の財源移譲しかできず、予算編成の直前にこの様な状況が知らされて、予算を組み立てる中

で四苦八苦の状況であった。

今後二〇〇五年、六年の二カ年で約三兆円の縮減に対して、どの様な方向で削減と同額の税源移譲を図るかは、まだ未知数だと思っている。それには、今後町の財政をと

どの程度なのか。
保険課長 予防策として町内小学校にハンドソープ及びうがい薬を配布しているが、欠席児童が平成十四年度より十九%減少して、同医療費が、前年より三〇〇万円ほど減少している。また高齢者に対しての予防接種も効果が著しく表れてきている。今後も健康増進課と協力し、有効な保険事業を進め、医療費の削減に努める。

エコツーリズム推進モデル事業について

質問 モデル地区に富士北麓が選ばれ、県が三年計画で、地域の自然や文化財などの観光資源を生かしたツアーのプログラム作りに取り組むが。
観光課長 すでに、町において



ネイチャーガイド

ドツアーという形で実施しており、環境省・県よりも先行して合併前から計画・準備して来た。当町には、樹海が広がりその脆弱な地域の自然破壊が進んでいる。自然環境の保護を目的に、公認ネイチャーガイドを認定して、ガイドの資質の向上を計り講座を開設しそれを実施している。県との協調体制を取りながら町の要望を県側のプログラムに入れて、より有利な事業の展開をしていきたい。

医療費削減について

質問 小学生及び高齢者に対して、風邪・インフルエンザの予防策がとられていると聞かすが、それに対しての投資対効果は



渡辺重寿 議員

西湖畔の環境整備について

質問 美しい湖の景観や景勝地を保護していく上で、公共駐車場、公衆ト

イレの整備が急務であると思うが、町としての計画は。

観光課長 西湖において、湖畔河川敷への乗り入れ等の駐車帯の中でのトイレ等の問題については、西湖西のトイレと、西湖南の公民館のトイレを開放しながら、又、蝙蝠穴のトイレ等の利用を考えている。東電取水口付近においては、今後、アヤマの里等の整備をする中で、公共駐車場、公衆トイレの整備についても、観光客の利用状態を調査しながら実施していく必要があると考えている。現段階で火急に行なうためには、各観光業者の協力を得ながら、キャンプ場並びに売店、食堂等のトイレを利用し、当面の解決を考えている。

遊魚税導入について

しなければならぬと考えている。駐車場が足りないかわりに河川敷に入っているのが現状であり、整備しながら今後対応していきたいと考えている。

質問 湖水及び湖畔の環境整備事業及び地域の雇用促進にもなると思うが、町としての考えは。

町長 河口湖地域においては財源厳しい折、目的税であっても、法廷外目的税であっても、従来町村で負担していた清掃、トイレ対策等を含めながら、一定の成果が上がっている。西湖地域においては、ボート関係者、漁業協同組合、観光協会等



車輛乗り入れ

の団体の皆さんとの合意が絶対的に必要と考えている。釣り客等については、姫鱒の増殖をはかりながら、西湖を姫鱒のメッカに持っていきたいと考えている。第二養殖場の方向性が決まると思うが、その結果を見ながら遊魚税の導入を見極める。あくまでも導入については、地域の皆さんの合意が必要である。



高山泰治 議員

障害者の雇用について

質問 社会参加の意欲を持った心身障害者が、その労働能力にあった職につくことが望ましく、一般健常者とともに、就業

を希望する者に対して、何らかの援助・育成を図るべきと考えるが、町としての考えは。

観光課長 本町の障害者手帳交付者数は、六百八十二名で、常時労働者数五十六人以上の民間企業で、一人以上の障害者を雇用している企業は、ハローワーク富士吉田管内は四十社中二十九社である。障害者雇用については、国、県等の企業への助成措置並びに障害者等の就業支援措置等の制度があり、これらを照会しながら企業に理解を求めていきたい。

総務課長 富士河口湖町役場については、障害者雇用数は五人である。

公共工事における入札について

町長 工事費の積算基準について、デフレ傾向下、担当課がある面の予算編成の段階で、シビアな積算を工事箇所毎に予算づけをしている。積算基準については、今、山梨県の方で、全てインターネットを用いて、関係の業

者が拾おうと思えば、価格等、積算基準が公表されている。土木工事については、いわゆる工事原価に加えて経費を乗せるのが普通である。幾つかの項目の経費を計上し、県の場合は概ね六十%位、町の場合は、約三十%位を計上している。落札率については、差異があってもおかしくないと思う。住民から預かった貴重な税金なので価格面まで意識して取り組みをしている。建設工事については十三%〜十六%の経費率であるが、町のルールで取り組んでいる。予定価格の漏えい防止については、本町の場合、入札者その部屋で待つてもらい、私どもが別部屋に行つて、入札場で予定価格を皆で相談した中でつくる方式をとっている。予定価格に工事現場の難易度の設定がある。大通りで車の行き交うところ、山奥で車両が通らないところ、やりにくい現場等ABC段階として価格を設定している。新町の指名参加

願が出された業者数、土木工事、四分類型二十六業者、建築二分類型十社、水道二分類型十二社合計四十八社、造園業を加えると六十〜七十社となる。

関係各社が業をなす中で、企業努力がなされ、施工の工程、資材の仕入れ等でも努力し安い金額での落札を期待している。税収の視点で考えると町内業者ががんばっていただくことで、税収の反映が町にもたらせる。今後の推移として業者がそれなりの能力を得た段階で、希望として一定の方式に基づいて入札した後の提案型（VE方式）設計に基づいて仕上げるのでは



小佐野坦子議員

道の駅かつやまに関して

質問 道の駅かつやまの周辺拡張計画の進捗状況と将来構想について。

なく、施工の段階で請け負った業者側に提案を求める方式を取り入れたい。



町道改修工事

再質問 下請け会社に対するいじめについて。

町長 建設業法に基づいて異議の申し立ての対応ができる制度があるので、今後指導していきたいと思っています。

幅と、それに伴う再配置計画を進めている。

六月補正で約五〇〇〇㎡の用地購入を行い、林間駐車場の整備を予定している。

整備が整った上で、コアとなる施設を誘致し、観光拠点と交流の場となるような運営をしていく。

質問 道の駅から羽根子山への道路整備の予定は。

町長 勝山地区の財産管理委員、地域振興協議会等と協議しながら進めていく。

男女共同参画について

質問 各種委員会、審議会、協議会等のメンバーに女性を何割入れる、などの計画はあるか。

生涯学習課長 女性を何割入れるかという具体的な方針はない。その委員会に適任とされる人を選任することが肝要であるが、適任とされる女性の登用は積極的に行いたい。

男女共同参画社会の、構築については、推進委員の意見を参考に、更に前進していくよう努力する。

学校給食について

質問 給食センター設置に伴い、心の感じられる食事提供のための具体的な計画は。

学校教育課長 河口湖南岸給食センターに関しては、本年度四月からPTAなど関係者を含む検討委員会を設置し、幅広く論議してきた。

教育の一環として行なわれる給食は、子供にとってより安全、安心なものをということが最も重要である。決して効率のみを考えずに、手づくりにも心がけ、品数、食器等創意工夫をした、心の感じられる給食を提供したい。



勝山小学校給食風景

に移り住んで

『トンネルを抜けると』

霧と雨の御殿場から、富士五湖道路に乗り「トンネルを抜けるとそこは雪国・・・」の場合もありましたが、晴れが多いのです。私は飛騨高山の生まれですから、雪や水は平気ですが、雨と霧は苦手です。

更に、御殿場からも富士山は観えるのですが、河口湖からの方が均整がとれており、特に河口地区や大石地区から湖水越しに見る富士山は、世界でも類を見ない美しさです。

職場が河口湖になってから、毎日のように気象と富士山の違いを思い知らされ、いつかは「河口湖に住みたい」という気持ちが年々強くなっていましたが、御殿場に自宅を建ててしまった以上、どうすることもできませんでした。そんな折、幸か不幸かというより自業自得ですが、仕事一筋で家庭を顧みない私は、離婚する事になり、御殿場の自宅を手放すことになったのです。

災い転じてなんとやらで、これを機に念願の河口湖に単身転居することになりました。最初は、マンション住まいでしたが河口湖地区に理想の土地をお世話していただき、また自宅を新築できました。

早起きして、テラスドアを開け放ち、真正面に富士山を仰ぎみながら、ウッドデッキでモーニングコーヒーを飲めば、気分はもうリゾートです。

これで、新しい人生の伴侶が見つければ、私はもう一生この町を離れないでしょう。

(河口)



ツル虎ノ門外科・リハビリテーション病院
院長 廣田 健 児

私は富士河口湖町小立の河口湖畔で陶芸の創作をしております。

金沢の美術大を卒業後すぐに忍野村の窯に就職し、それ以来ずっと山梨にご縁があり、現在の工房に移り住んで十年近くになります。

工房の仕事場の窓からは河口湖が目の前に眺められます。

私の生まれ育った石川県の山村とは気候、環境もずいぶん違っているこの地に、こうして長く暮していただけるのは、おだやかな水辺の景色、日本一の富士山のパワーはもちろんですが、地元の皆さんがあたたかく親身になって接して下さるおかげだと思えます。

現在、河口湖近隣のものづくりをしている作家があつまって『アートサイト河口湖』というグループをつくり、工房体験や作家とその作品を紹介し、楽しみながらものづくりを身近に感じてもらえるよう努力しております。

湖畔の工房を、ぶらっとのぞいてごらん下さい。

(小立)



花仙陶房
辻 優 子

河口湖に移り住んで早5年が経ちました。埼玉県で生まれ、6歳から東京で過ごし、まさか河口湖で生活することになるとは思ってもみませんでした。

中学生の時にひよんなことから始めたバスフィッシング。初めてその姿を見るまで約1年！その場所は、河口湖の遊覧船乗り場、それからトーナメントというプロの世界に魅了され高校生時代より、毎週河口湖に高速バスで通い釣り三昧だったことを昨日のように感じます。

実は、祖父、父親が歯科医師ということもあり当然のように歯科大に進学し、卒業後5年間義父（妻も歯科医師なんです！）の歯科医院にて勤務していました。

しかし、子ども時代からの夢が捨てきれず河口湖にて釣り具メーカーである有限会社ネクスト・ワンを設立しました。

ルアーの開発およびヒューマンアカデミーという釣り具の専門学校の講師・そして日本バスプロ協会（JB）のトップカテゴリーのワールドプロシリーズに参戦し、バスフィッシングのすばらしさと自然のありがたさを河口湖という日本一のフィールドから全国のみならず世界に発信していきたいと思っています。

(船津)



有限会社 ネクスト・ワン
社長 関 千 俊 (バスプロ)

富士河口湖町

「ああ、今日も富士山がきれい！」と、毎日のように眺めて、早5年になりました。

思えば7、8年前に、第二の人生は景色の良い田舎暮らしを望み、全国を捜しまわって、やっと見つけたのがここ勝山でした。

眺めはもちろん、水も空気もきれいで美味しく、夏は涼しく(冬は少々寒い)、大阪での夏の生活が嘘のように思えるほどです。

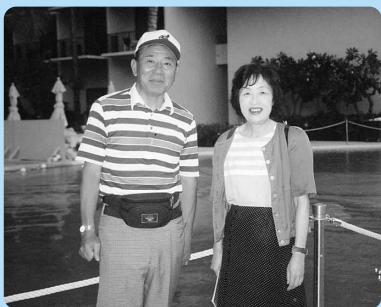
それと、割に東京に近いというのも生活をして感じていました。

車で1時間強で、気楽に都内に行けるのも、魅力のひとつになりました。

又、民宿を営んでいる方が多いせいか、気軽にお声をかけて下さったり、趣味のクラブにも快く仲間入りさせていただき、親切に教えて下さり、本当に身に浸みて嬉しく思いました。

余談ですが、憧れのログ・ハウスに住んで、薪ストーブの炎を見ながら、闇夜に浮ぶ銀白の富士の眺めには、60才を過ぎた身でもロマンチックになれるものです。

2004 夏
(勝山)



大阪より1999年に移住
庄 村 弘・文 子

魚たちが泳ぐ湖。動物達の息吹を感じる山々。鳥が舞う空。せせらぎが聞こえる川。

「自然がいっぱいで、日本の原風景が今もなお残る。そんな所で暮らしたい」と、住み慣れたイギリスから帰国した僕が選んだ場所、富士河口湖町。

ここにあるのは、これだけではない。観光をエネルギーとする活気や支えあう地域の生活。古を今に伝える言葉や文化。特徴ある漁業と農業。富士山と共生してきた特異な暮らし。

一言で言うと、「独特な風土」とでも言うのであろうか。

職業柄、「風土」という言葉をよく考える。「風土」とは、やはり人と自然、それらが織り成す文化、社会のことではないかと。住み始め当初は、これら全てが異質に感じたと言っても過言ではない。

しかし、「風」に乗って僕はやって来、新しい何かを始めた。これからは「土」としてここに暮らし、何かを発信してゆく。移り住んで6年を迎え、こんなことを考えている今日この頃である。「風土」の一人として。

(大石)



カントリーレイクシステム
代表 田 村 孝 次

今から36年前、西湖～河口湖～忍野を歩きその自然の美しさに感動しました。その後幾度と無くこの地を訪れ、大切な思い出として心の隅にしまってありました。

富士山と湖、そしてそれらを御坂山塊の山並みが取り囲み、自然の営みが繰り返されている鼓動を感じ、生活の拠点としてこの地を決めたのが平成5年、11年前になります。自然豊かな足和田地区長浜の樹林の中で、夫婦二人三脚で営業を始めて6年あまり。自然という素晴らしい財産をテーマにオアシス的なくつろぎ空間を模索しております。

都会育ちゆえ、自然と生活環境のバランスが実に素晴らしいと思う反面、環境の変化に危機感があるのも事実です。

富士河口湖町の最大の財産は、価値ある自然です。この豊かな自然環境をいかに後世に残し、多くの人々に訪れていただくかがテーマです。

その一役をピンポイントとして広げて行けたら・・・と思っております。

(長浜)



「くつろぎの宿」クースクース
田 中 保 次・公 子

4月

- 1日 産経土木常任委員会
- 2日 議会運営委員会、議員全員協議会、第2回臨時議会
- 5日 産経土木常任委員会（白州視察）
- 9日 高知県安田町議会研修来庁
- 12日 産経土木常任委員会
- 14日 議会運営委員会
- 15日 北海道留辺蘂町議会研修来庁
文教社会常任委員会（町内施設見学）
- 19日 新潟県上川村議会研修来庁
- 20日 産経土木常任委員会
- 22日 鳥取県東郷町議会研修来庁
- 23日 議会運営委員会
- 26日 総務常任委員会研修、産経土木常任委員会
- 29日 甲斐のかつやま 流鏑馬まつり
- 30日 第3回臨時議会

5月

- 13日 茨城県玉造町議運研修来庁
- 17日 大分県蒲江町議会研修来庁
- 18日 鹿児島県坊津町議会研修来庁
- 19日 福岡県筑穂町議会研修来庁
- 25日 産経土木常任委員会
- 26・27日 議会議員視察研修（千葉県富浦町）
- 28日 産経土木常任委員会

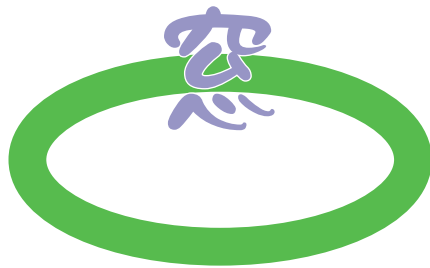
6月

- 3日 議会運営委員長連絡協議会定期総会
- 5日 議会広報研究協議会定期総会
- 7日 産経土木常任委員会
- 8日 議会運営委員会
- 14日 議会運営委員会、議員全員協議会、6月定例会開会本会議（条例・補正予算）
- 15日 本会議（一般質問）議員全員協議会
- 16日 総務常任委員会、文教社会常任委員会
- 17日 産経土木常任委員会、定例会（委員会報告）閉会
- 18日 ハーブフェスティバルオープニング
- 20日 西湖ロードレース
- 29日 県町村議会運営委員会研修会

学生の頃、太宰文学を読み、隣の富士吉田に生まれた私は河口という地に親しみを覚え、憧れたものでした。とりわけ、天下茶屋に住い、御坂峠を歩いて



下り河口局に手紙を取りに来たという太宰の姿が御坂峠を通行する度に目に浮かび、「今の世を彼が見たら何と思うだろう」と思います。半日がかりで山を降りて来ただろうに、道路はすっかり整備され、舗装されて、局までは車でサッと十分程、交通量が多くて道の端など歩けやしない。きつと「富士には月見草がよく似合う」などと風流なことば言っではいけない。あの名言もなかったものか？



そんな河口に縁あって嫁いで早くも二十年。家業は太宰も驚く道づくり。そんな仕事

を手伝いながら三人の子に恵まれ育てながらの二十年。自然と共存し、住みやすい町に自然と開発の狭間に悩むこともありますが、治山治水を看板に掲げた先代からの意志を引き継いだ主人と共に少しでも地域の方々のお役に立てたらと日々、努力しています。

我家の茶の間から真正面に見える富士山は三百六十五日、様々な姿を見せてくれます。富士山は辛いこと悲しいこと全部包み込んで私の心を癒して、「又、



河口一七九三
宮下 智子

頑張るぞ」という力を与えてくれます。このすばらしい環境の中で暮していることに感謝しつつ、更に地域に貢献してゆきたいと心より思っております。

あまりに厳しい暑さが続くので、地球が悲鳴をあげているのかと心配になってくるこの頃です。ひとりの小さな力も、集まるととても大きな力になれると信じます。

環境のことについて、ひとりひとりが出来ることから始めてみましょう。

編集委員一同

編集後記

訂正 議会だより第二号
5ページ一般会計の主な事業の中で「交際費」は「公債費」の誤りでした。

富士河口湖町 特別顧問
故 三浦廣明氏 に捧ぐ

氏は、富士河口湖町の特別顧問として、町政推進にご尽力され、氏を失ったことは本町にとって痛惜の極みであります。

ここに謹んで追悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

富士河口湖町議会議員一同